

## 平成26年度中頓別町教育委員会の活動状況に関する 点検・評価に係るご意見・アドバイスのとりまとめ

### 1. 平成26年度施策の体系及び予算の状況

#### (1) 認定こども園事業

①認定こども園事業について、新職員の補充がここ十数年以上ないため、職員の新陳代謝が進ま  
ずバランスの悪いものとなっている印象を受けます。保護者側からも若い職員の存在を望む声  
が多く、このままの状況で推移すると一層のコストアップも進む懸念があります。

保育時間延長に対する要望も高いことも聞くので、職員を増やし、きめ細かいシフト制をしい  
てそれらに応える必要性を感じます。

町で唯一の保育機関でもあるので、保健福祉課の児童政策と融合した事業の展開がなされ、多  
様な保護者ニーズに対応できる斬新な組織づくりが望まれます。

②認定こども園事業や次世代育成支援対策事業に関して、子どもの減少によって、子育て支援が  
どんな形で変わっていくのか予算を含めて気になるところです。

#### (2) なかとんべつ子ども読書プラン事業

①なかとんべつ子ども読書プラン事業として独自に設けられていますが、地域子育て支援センタ  
ー事業の中で、早期の段階で取り組んでいけるものと思われれます。

#### (3) 小学校・中学校施設維持管理事業

①学校関係の設備管理に関して、安全管理に専門業者に委託管理ということになっていますが、  
遊具に関しては大丈夫でしょうか。

#### (4) 町民センター維持管理運営事業

①町民センターについては、役場の新庁舎建設以降、特に利用頻度が低くなっているため、これ  
までの管理体制を大幅に見直す必要を感じます。例えば、商工会や社会福祉協議会などの事務  
所として提供し、管理を任せることも考えてはどうでしょうか。両団体とも町より公的補助を  
受けているため、公立的な管理運営が期待できます。

#### (5) 郷土資料館及び青少年柔剣道場維持管理運営事業

①青少年柔剣道場のストーブが燃えたり消えたりしているので、整備に出すか取替えするか検討  
していただきたいと思います。

厳しい財政状況の中ですが、教育施設の改修などは優先順位を決めて早急に取り組んでほしい  
と思います。

### 2. 学校・家庭・地域の連携による教育支援活動促進事業

①放課後子ども教室について、さまざまな活動をしているが、特にオリジナル絵本づくりや環境  
学習会などは、子どもたちの想像力を引きだし、クリエイティブな感覚を養うために重要だと  
思います。今後は、エネルギーについての学習なども盛り込んでいただけたら良いと感じます。

- ②スキー授業の中で、教職員が指導員の資格や級をもっている方が少なく、スキー協会に依頼するのは良いが、学校授業であるならば、学校の先生方に指導員等の資格などの要請をしてはいかがでしょうか。
- ③家庭支援活動の様々な取り組みは評価できると思いますが、周知があまり活発に行われていないのか、参加者が同じメンバーになっているような気がします。色々なツールを使って周知した方が、参加者は増えると思います。
- ④年間、それぞれの場で自然を生かした体験や交流が行われていますが、参加する人数は少なくとも継続して行ってほしいものです。また、目に見える形で伝えていくことも、地域との連携の意味からも大切です。
- ⑤ゲーム等の普及によって野外での活動する子ども達が減少しているように思います。また、子ども達の体力の低下が見受けられます。  
誰もが使用できる活動場所の提供

### 3. 平成26年度認定こども園と中頓別小学校との連携方針実施状況の総括

- ①なかなか携わる機会がないのでわからない事の方が多いのですが、こども園と中頓別小学校とのつながりは教育上非常に大切だと思うので、今後も活発な連携を期待しています。  
子どもの発達に則してきめ細かい連携がなされていることは、家庭にとっても安心できることです。何か問題があった時にすぐ連絡をとり原点にかえった形で指導がおこなわれるものと思われれます。
- ②子ども園の運動会については、ここ数年午前中に終了しているが、地域の多くの人達と親睦を深めるためにも、昼食を取りながら交流したらどうでしょうか。(午後2種目程度増にして)年度によっては入園児の増減があると思いますが、できれば是非お願いしたいと思います。

### 4. 宗谷管内教育推進の重点に係る学校等の具体的な取組の総括

- ①社会教育事業の活性化を図るための公民館活動や、町の歴史・自然を統計的に整理・保存、あるいは発信するための学芸員の配備を考える時期にきています。鍾乳洞については、具体的な進展が見えないジオパーク構想を止め、身近な自然をやさしく解説する場としての価値を高めた方がよいと思います。そのためにも学芸員が必要で、近隣町(枝幸町、中川町)の事例では、著しく効果が生まれています。
- ②体力、運動能力の向上の中で、小学校、中学校の全学年で体力テストを実施していると結果報告がありますが、どの少年団も結果が表れていないように思います。今後9月に町民駅伝マラソン大会がありますが、少人数は練習風景を見ますがそれで終わってしまいます。1年中を通すといい結果が出るのでないですか。
- ③宗谷管内教育をベースにして、中頓別独自の教育推進計画の積極的な取り組みを目指して、色々な問題に対応できるようになれば良いと思います。

- ④現在は、さまざまなかたちで学力、体力についても調査や分析が、小学校、中学校ともになさ  
れています。その中であって基礎学力、基礎体力に関してはあまり変わらずにありますので、  
個々の実態にどれだけ則して対応でき、地域の格差を少なくできるよう指導の体制を図ってい  
ただきたいと思われます。
- ⑤社会の変化や時代の流れの中で、情報の活用（特に携帯電話やインターネットの活用で）子ど  
も、親、先生方も必要性と同時に対応するのに苦慮することも多々あろうかと推察します。情  
報モラルの重要性をなお一層図る取組みを求められています。

## 5. 教育委員会活動全般

- ①体育連盟やスポーツ推進委員や少年団活動などで関わる機会が多いので、今後も会議などで議  
論してより良い取組みができるように協力していただきたいと思ひます。  
新体制のもと各分野の教育推進によろしくお願ひいたします。
- ②町民文化祭に関して、町民の高齢化や人口減少もありますが、少し工夫が必要だと思われます。  
このままでは、作品の展示が無くなりそうです。文化や芸術は、すぐには出来ませんので時間  
をかけて取り組まれますよう希望します。
- ③今年6月から道路交通法が一部改正され自転車走行について厳しくなりました。本町において  
一部の小学生の乗り方が悪いと思われます。親は勿論であるが、学校として今一度交通ルール  
について指導をしてはどうでしょうか。町内から加害者、被害者を出さないためにも。

平成25年度中頓別町教育委員会の活動状況に関する  
点検・評価に係るご意見・アドバイス

ご意見・アドバイスの内容	平成26年度以降に改善した点等
<p>1 健やかでこころ豊かな子どもを育てる環境づくり</p> <p>(1) 子育て支援と幼児教育の充実</p> <p>① 子育てが一家庭にとどまらず、地域全体で支えていく時代であるとともに、こども館の役割が子どもと若い親をも育てていく状況にあるのではないのでしょうか。</p> <p>② こども館と保健福祉課との連携は、特に注意すべきです。こどもの変化は親（保護者）の変化です。</p> <p>③ P40、子ども会育成会連絡協議会の項目に関して、管内カルタ大会への参加検討とあるが、積極的に町外にでる事は非常に大切であると感じるので、実現させてほしい。</p>	<p>平成26年度以降に改善した点等</p> <p>① 子育て家庭を対象に、交流の場を多く提供しながら、安心して利用できる環境づくりに努めました。</p> <p>② 行政間での連携は今現在も密に行っていますが、更に幼児教育と児童福祉施策について連携を図っていきます。</p> <p>③ 平成27年1月18日開催の宗谷管内子どもカルタ大会に、町内カルタ大会の優勝チームが参加しました。</p>
<p>(2) 学校教育の充実</p> <p>① 体力と学力の向上はいつの時代も問われますが、バランスのとれた人の育成を望みます。</p> <p>② 環境教育についても力を入れてほしい。豊かな自然、恵まれた自然環境にあるだけに、環境の変化や災害時のことも対応できるような人としてのベースは子供時代にあると思われま。</p> <p>③ 登下校中の児童や生徒達の交通マナーが良く、道を譲ったあとなどの運転者に向けたあいさつはいつも清々しい気持ちにさせてくれます。これは町民性に裏付けされた、学校や家庭での教育の成果であると感じつつ、大切にしたいことの一つだと思います。</p>	<p>① 体力向上のため、小・中学校ともに新体力テストを実施し、子どもたちの体力・運動能力を的確に把握し、持久力・柔軟性を向上させる運動を取り入れながら進めている。学力向上については、児童生徒個々の実態にあった指導を行い、「わかる・楽しい授業」になるように取組み基礎基本の定着を図ってきました。</p> <p>② 小学校は富良野自然塾の外部講師による環境学習及び「中頓別探検隊」（総合的な学習の時間）における地域の環境学習を実施しました。中学校は、身近な地域への理解や地域資源に関する学習などの取り組みを進めてきました。</p> <p>③ 道徳教育をはじめ学校の教育活動を通じて、規範意識を身に付ける指導を行ってきました。</p>
<p>◇中頓別小学校</p> <p>① 教職員全体で、日常的なトラブル、問題行動を共有（教師一人に任せない）しながら指導にあたる体制づくりがなされていることは、保護者にとっても信頼を得るものです。</p> <p>② 縦割り班活動の定着、学校、家庭、地域による連携はとても大きいものがあります。</p> <p>③ マラソン、駅伝大会への参加の取り組みは、昨年同様とした方がよい。P67に組体操ができる筋力がついていないとあるが、そのことを考えてもレベルダウンさせるべきではない。</p>	<p>① 全教職員でアンテナを高くし、児童との信頼関係を構築するために児童に寄り添い、児童の声をよく聞きながら指導にあたり、職員間で情報共有を図りました。</p> <p>② 縦割り班活動を通し、日常的に異年齢の人達との関わりを学ぶことができた。また、学校、家庭、地域による連携による教育支援活動により地域住民や、教育支援員の協力を頂き、授業の効果的運営や農業体験といったさまざまな体験活動を行ってきました。</p> <p>③ 小学校の意向もあり昨年同様とはなりませんでしたが、今後においては、マラソン駅伝大会の意義を考えたいと、小学校と協議していきたいと思ひます。</p>

<p>④ 自分自身、フットサル少年団のコーチとして小学生に関わっていますが、団体生活におけるマナー（あいさつや礼儀）の部分が多少足りないと思います。そこを、父母や学校関係者、課外活動の指導者などで連携をとっていけると良いと思います。</p> <p>⑤ 学校教育目標の知・徳・体とありますが、知・徳については充実していると思いますが、体の方で、小学校である程度の基礎体力が以前からみたら無くなってきています。例えば、校内マラソンやマット運動等、昔行ってきたことを危険だからと廃止してきましたが、その結果、中学校や高校へ進んでも結果出せず充実に欠けていると思います。</p>	<p>④ 全校朝会での「挨拶」や「言葉使い」に対する取り組みを児童会でも中心となって進め学級への取り組みにもつなげてきましたが、再度、道徳教育により規範意識を身に付ける指導を行っていきます。</p> <p>⑤ 昔のように外で遊ぶ子ども達が減少し、室内でテレビゲーム等で遊ぶ子ども達が増加傾向にあります。家庭環境もありますが、基礎体力をつけるためにも、外で遊ぶ機会をつけるように働きかけていきたいと思っています。</p>
<p>◇中頓別中学校</p> <p>① 子どもの学力、体力の面で急激に発達する過程での指導は、教師として大きな課題です。特に人間関係コミュニケーションは集団づくりの中で重要な意味をもちます。</p> <p>② よさこい、合唱等の取り組みを通じ、地域にとっても力になっています。今後も教師の指導力に期待されます。</p> <p>③ 南宗谷防犯球技大会などに関わって思う事は、グラウンド（野球場）の活用方法を検討した方が良いと思います。具体的には、関係団体（野球、サッカー）などと協力してスポーツ大会を開催するなど、せっかくの芝生のグラウンドなのに有効活用出来ないのはもったいないと思います。</p> <p>④ 小学生のうちは地域とのふれあいを目標にした取組みが展開されていて接点も多いのですが、中学生になるとそれが急に薄れている印象を受けます。クラブ活動や学習量などで違いが生じているのだと思いますが、生徒たちを地域づくりに参加させる（アイデアをもらう）場面がもう少し必要な気がします。（町長や教育長との懇談あるいは議会視察など・・・etc）</p>	<p>① 地域社会とのコミュニケーションを育むために、保護者や地域住民等が協同して行う地域行事やボランティア活動に取り組んできました。</p> <p>② 地域における行事等への参加を大切にし、地域行事への積極的な参加を促す取組を工夫してきました。</p> <p>③ グラウンドを活用して行う団体が少ないため、今後は団体だけの使用だけでなく、それ以外にも使用できないか検討していきます。</p> <p>④ 「よさこい」活動を通じて地域の行事に参加をしていますが、その他に中学校ではキャリア教育にも力を入れており、望ましい勤労観、職業観を形成するために、職場訪問などの体験活動や保護者や地域の職業人などの体験談などを取り入れながら、学ぶことや働くことの意義を理解しています。</p>
<p>2 生きがいとまちづくりを支える社会教育の推進</p> <p>(1) 社会教育の充実</p> <p>① 成人式の取り組みについて、通常の方法は時代とともに様変わりしてきていますが、該当する成人の人にアンケートなどはとっているのでしょうか。町の方で式典を用意しても、出席者が少なくなっている現状で、本当に何を望み、どんな成人式が良いのか試行錯誤はつづくと思われませんが検討してください。</p>	<p>① 今年度の成人式は、新成人に喜んでいただけるような催しを企画し、町民有志による新成人を祝うミニコンサートを実施しました。新成人該当者の学業や仕事の都合を調整し、より出席しやすい日程になるように検討していきます。</p>

<p>② P 8 3、サークル指導者養成をしっかりと取り組んでほしい。(生活職人の再整理が必要ではないか) P 8 6、夜間(7:00~)のクラスを希望する人がいるかも知れないので、新ALTと検討してはどうか。</p> <p>③ 社会教育は「まちづくり」につながる重要な分野だと理解していますが、本町ではこの辺りに脆弱さを感じます。本来であれば社会教育が他の住民組織を牽引するくらいの役割があってもいいと感じますし、「そうや自然学校」との関係もしっかり整理されていない印象を受けます。もちろんこの課題は教育委員会のみで取り組むことなく、適切な分掌を目標にした再考を促してゆくべきと望みます。</p>	<p>② ALTによる英会話教室については、参加者が少ない状況であり、日程時間帯も含め検討していく必要があると認識しています。平成27年6月からは火曜日の午後7時から英会話教室を開催することができました。</p> <p>③ 社会教育は、地域の多様な人材が学習成果を生かして活躍できる場を設けたり、地域づくりに関わる各種団体、組織のネットワーク化を図ったりする重要な役割を果たしていかなければならない重要な分野だと認識しています。「そうや自然学校」との関係については、町としての方向性をしっかりと整理したうえで今後、社会教育との関わりを検討していきたいと思います。</p>
<p>(2) 社会体育の充実</p> <p>① P 9 0、少年団の指導者発掘は急務と感じます。(生活職人の再整理が必要ではないか) P 9 1、町民体育館は個人で使用しにくい。休日、放課後、子ども達が使えるようにしてほしい。</p> <p>② 今後も、スポーツ関連の大会を助成や補助などを有効活用して、既存の大会だけではなく、新しい大会などを増加してスポーツの発展や充実につなげていければ良いと思います。</p> <p>③ 社会教育推進事業についての評価では、スキー利用にしか評価されていないので、その他のスポーツについての評価もすべきではないか</p> <p>④ 寿野外レクリエーション施設事業の取り組み概要の数字が、資料6ページと異なっている。</p> <p>⑤ 生涯スポーツと謳うのであれば、大会のタイトルを大きく考えてしまいがちになる。参加者が限定されるスポーツではなく、誰もが「遊びに行こう、体を動かそう」という気持ちになるスポーツ事業が必要かと思えます。高齢化社会になると、余計に考えていかなければいけないと思えます。</p>	<p>① 町民体育館の活用については、いつ誰が使用しているのか分かるように整理し、町民に周知出来るようにしていきます。個人でも使用できるような体制を整えていけるよう協議します。</p> <p>② 町体育連盟やスポーツ少年団で、さまざまな大会に係る助成や補助をどこまで出せるか協議していきます。</p> <p>③ 最近ではスノーボードの利用者も増加しているので、スキー以外のスポーツについても評価していきたいと思います。</p> <p>④ 記載誤りです。今後誤りのないようにしていきます。</p> <p>⑤ 誰でも参加可能なレクリエーション的なスポーツ事業を今後検討していきたいと思います。</p>
<p>(3) 地域文化の振興と文化財の保護</p> <p>① 郷土資料館について、多くの町民が設立時に見て、その後ご無沙汰という状況であるので、ねむっている資料館にスポットを当ててほしいと思います。(展示方法の工夫のこともありますが・・・)</p> <p>② 町民文化祭には、小学校の発表をお願いできないでしょうか。(夏まつり、冬まつりには太鼓が参加していることを考えると、学芸会直後の文化祭は練習の負担も少なく可能と考えられるが。)</p>	<p>① 郷土資料館内にある町のPRビデオについても数十年前のものなので、今後更新していくように検討していきたいと考えています。</p> <p>② 文化祭実行委員会において、小学校の発表の可能性についても検討していきたいと思えます。</p>

<p>③ 高山植物など貴重な（群生）個体のリストづくりや保護政策のあり方などを専門家の協力の下、進めていくことが望ましいと感じます。</p>	<p>③ 毎年1回文化財保護委員会で、一部の地域において高山植物群生調査を実施してきております。当面は、それを継続していくこととしておりますが、ご意見についても検討してみたいと思います。</p>
<p>3 教育委員会活動全般</p> <p>① 教育委員の方は、学校訪問ということで（学校全体の状況把握）などの機会はありますが、事務局である職員の方の、学校現場、教師との交流はあるのでしょうか。教育を推進していく上でも、学習の環境を整えていく上でも職員の人の目線も大切ではないでしょうか。</p> <p>② 体育連盟、スポーツ推進委員、少年団など教育委員会の方々と活動する機会が多いのですが、これからも連携して、スポーツを通じていろいろな人に活動を広めていけたらと思います。</p> <p>③ 7. 施策項目ごとの取り組み概要、成果や課題・今後の方向性の表は、平成25年度だけで良いのではないか。（小学校、中学校のやり方の方が見やすいと思う。）</p> <p>④ P28～P34 単位がない。</p> <p>⑤ 前年度、宗谷教育局義務教育指導監の指導にもあったように、町の教育目標が制定されて60年以上経っていることを踏まえ、今の状況に沿ったものに見直しをしてゆく必要を感じます。</p>	<p>① 教育長が最低月1回は、各学校訪問をし、児童生徒の授業参観もしながら状況を把握しています。事務局においてもことある事に各学校に足を運び教育環境の充実に向け情報の共有に努めています。教職員とのレク活動へ参加するなど意思疎通を図るようにしています。</p> <p>② 教育委員会はそれぞれのスポーツ団体等の事務局を担っていますので、これからも各団体、個人の活動されている方々と更に連携して活動を進めていきます。</p> <p>③ そのようなご意見もありますが、比較ができてよいとの意見もありますので、町民の皆さんにとって分かりやすくなるようどう工夫できるか考えていきたいと思います。</p> <p>④ 修正しました。</p> <p>⑤ 昭和26年制定した教育目標について見直しをするということではなく、現時点での教育推進計画を新たに策定いたしました。</p>